

『都市文化研究』刊行の辞

阪 口 弘 之

大阪市立大学大学院文学研究科は、文部科学省の「二十一世紀 COE プログラム」において、世界最高水準の研究教育拠点に選定された。その課題は、「都市文化創造のための人文科学的研究」である。その柱は、1) 比較都市文化史研究、2) 現代都市文化研究、3) 都市の人間研究であり、都市文化に関する総合的な研究を志向していることを特徴としている。

この度、その研究成果を公開する舞台として、『都市文化研究』が刊行される運びとなった。「二十一世紀 COE プログラム」は、我が国の学術研究の充実に向けて、高水準の研究を展開する機関を重点的に支援しようとする施策である。我が文学研究科が取り組む課題がこれに選ばれたことは大変名誉なことであるが、それゆえに研究成果の公開への責務は重い。研究知見を積極的に公にしていくことが期待されよう。『都市文化研究』の刊行は、そうした期待に応えるための営みのひとつである。

都市文化創造に関する研究は人文科学の新しい領域であるため、その対象や方法論が確立しているとは言えない。しかし、「都市文化創造のための人文科学的研究」は、COE 研究拠点「都市文化研究センター」及び海外のサブセンターでの研究活動、学術交流を支柱として、すでに活発に展開され始めている。また、博士課程在籍の COE 研究員等による個人研究も熱を帯びつつある。『都市文化研究』第1号においても、こうした研究熱の高まりを背景に、都市文化に関する多種多様な研究論文を掲載することができた。また、都市文化研究センター及びサブセンターにおける研究活動の様態や海外の都市文化に関する研究の動向なども、レポートやニュースの形で紹介することができた。

本文学研究科では、今後も、この『都市文化研究』を定期的に刊行し、都市文化に関する研究成果や最新のニュースを国内外に向けて積極的に発信していく所存である。この雑誌を共通の土壌として、都市文化に関する諸研究が共鳴し、発展することを切に願う次第である。そのためには、都市文化研究の同志たる読者のご協力を仰がねばならない。本雑誌に所収の論文・研究レポート等に対するご意見をぜひお寄せいただき、都市文化に関する研究コミュニティが育てば望外の幸せである。

(2003年3月)